

インソース×RIAMビジネススクール

神戸大学MBA教授陣に学ぶ

経営学の実践知

— 東京・有楽町開催 —

2025年10~12月開講

厳選した10科目で構成するプレMBAプログラム※

戦略論

人的資本経営

イノベーション戦略

マーケティング

新 ビジネスエコノミクス

財務会計

ファイナンス

組織行動論

新 交通論

経営倫理

※MBA取得に関わる単位の認定はございません

「経営学の実践」を

日本で最も歴史ある

経営学部で学ぶ

第2期
募集開始

＝ 神戸大学MBA教授陣に学ぶ「経営学の実践知」とは About

本講座は、神戸大学のMBA教授陣による“最新の経営学の講義”を東京・有楽町で受けられる、特別なプレMBAプログラムです。神戸大学は、日本で最初に経営学部が設置された経営学のパイオニアと言われており、非常に歴史のある大学です。今期は、戦略論、マーケティング、財務会計といったMBAを構成する8科目に、新設のビジネスエコノミクス、交通論を加えた計10科目で開講いたします。ビジネスパーソンとしての知見をアップデートし、現場での課題解決・アイデア創出へと結びつけていただければと存じます。

<第1期受講者(154名)の声を一部ご紹介>

メンバーが成果を出すためにどんな行動が必要かを考え、フォロワーが行動できるようなアプローチが必要だと感じた。「リーダーシップは、リーダーとフォロワーの関係性で生まれる」ということが印象に残った。(2024/10/11 組織論受講)

ものづくり・技術の会社なのでマーケティングの重要性や学ぶべきスキルを会社内で広めていきたい。マーケティングは知識の少ない領域だったので事例も含めて非常に有益でした。(2024/10/18 マーケティング受講)

顧客への提案活動の一助になればと思い、今回参加いたしました。売上高や当期純利益の数字だけではなく、本研修で学んだ分析方法を踏まえて提案できるようになります。(2024/10/25 財務会計受講)



上手く使えば色々なものが見えて、ビジネスモデルや強み弱みが分かるので、他社の決算書を見比べて自分でも勉強を続けていく。(2024/11/1 ファイナンス受講)

経営陣の考えをどのように中間管理職として部下に伝えていくか、本日得た知識を活用したいと思いました。また、今まさに中期経営計画を策定しているため参考にしたかったです。(2024/11/8 技術経営受講)

戦略というものは経営者が考えることだと思っていましたが私たちの立場でも、個人レベルで考えていくことが大事なのかもと思いました。とても楽しい講義で、もう少し時間があれば良かったです。(2024/11/15 戦略論受講)

人事制度のチューニングを考えており、検討する観点の洗い出しにとっても参考になりましたので、実践で活かします。理論を学べたのは良かったです。(2024/11/22 人的資源管理受講)

倫理とか哲学とかは工学部出身の私からすれば今までふれたことのない分野であったが、最後まで興味深く聞くことができました。ESG活動とは社会的課題の解決であるということ、会社の人みんなにも伝えたいと思いました。(2024/11/29 経営倫理受講)

MBAのコアとなる10科目で構成され、6科目以上の講義への出席・事前課題の提出により、本プログラムの修了証を発行します。それぞれの科目は、科目のベースを学ぶ「オーバービュー」、科目に関連する現代的なトピックを深掘りする「コア」、ここまでの学びを深める「ケース討議・演習」で構成されます。一部の科目では事前課題としてケース討議の要件整理や、ディスカッションの準備が課されます。またミニ懇親会では教授との質疑応答のほか、他の受講者とのディスカッション・名刺交換ができます。

※MBA習得に関わる単位の認定ではございません

01

オーバービュー (90分)

学ぶ科目の全体像をつかみます。

02

コア (90分)

科目に関連する現代的なトピックを深掘りして学びます。神戸大学MBAに匹敵する、やや専門的な内容を講義します。

03

ケース討議・演習 (90分)

ここまで学んだことを実際に適用し、学びをさらに深めます。各機能部門の担当役員レベルでの判断を疑似体験します。

04

ミニ懇親会 (30分)

教授への質問やほかの受講者との名刺交換・意見交換(軽食あり)ができます。

開講科目 Programs and Schedule

戦略論

10.10 (金)

経営の意思決定を左右する 近年の戦略と価値の本質

VUCA時代においては、事前の戦略・計画を中心とするPDCAサイクルだけでは、経営はうまくいかないという現状があります。不確実な世の中においては、価値(バリュー)ベース戦略をもとにして状況に俊敏に適応していくOODAループを回すことが求められます。この講義では、欧米では経営戦略論の主流となっているバリューベース戦略の枠組みやその応用を演習を通じて学んでいきます。

<特におすすめ>マネージャー、経営企画担当



原田 勉
神戸大学大学院経営学研究科 教授

Ph.D.(スタンフォード大学)、博士(経営学)神戸大学
1997年神戸大学経営学部助教授、2005年より神戸大学大学院経営学研究科教授。専門分野は、イノベーション、経営戦略。経済学・認知心理学・脳科学的な学際的アプローチでイノベーションや創造性について探求している。

人的資源管理

10.17 (金)

競争優位の源泉としての人的資源管理

近年話題の人的資本経営とは、人的資本の価値を最大限に引き出し、また人的資本を適切に活用して企業価値を持続的に向上させる経営の在り方のことです。もともと、人的資本経営の考え方自体は理論的には特段新しいものではありません。経営戦略と連動した人事管理をどのように実践していくのか。戦略、組織に合わせて人事管理施策を革新していくにはどうすればよいのか。こうした問いについて、これまで人事管理の理論領域で蓄積されてきた知見を参照しながら考え、人的資本経営の進め方に関するヒントを提供します。

<特におすすめ>リーダー職、人事担当者



庭本 佳子
神戸大学大学院経営学研究科 准教授

博士(経営学)神戸大学
2015年摂南大学経営学部経営学科講師、2017年より神戸大学大学院経営学研究科准教授。専門分野は、人的資源管理、経営管理。

イノベーション戦略

10.24 (金)

コア・コンピタンスを最大限に活かす 両利きの技術経営

技術経営とは、企業や社会の便益を高めるために技術を積極的に創造・活用・制御しようとする組織的活動のことです。不確実性が高く、多様な価値が求められる現代社会においては、技術力を高めて今ある製品やサービスを改良するだけでなく、これまでにない新たな価値を提案するために技術を創造・活用することが求められます。この講義では、技術経営の基礎的な枠組みを学ぶとともに、コア・コンピタンスを最大限に活かして改良とイノベーションとを両立する、「両利き」のイノベーション戦略について理解を深めます。

<特におすすめ>企画・研究開発職、新規事業開発担当



宮尾 学
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(経営学)神戸大学
2000年サンスター株式会社入社、2011年滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン学科助教、2014年神戸大学大学院経営学研究科准教授。2023年より同教授。専門分野は、工業経営、技術管理、新製品開発、イノベーション。

マーケティング

10.31 (金)

不確実性の価値を取り込む エフェクチュアル・マーケティング

オーバービューでは、現代のマーケティング論の骨格と全体像を押さえます。コアでは、戦略計画的な発想が強かったこれまでのマーケティングの理論を補完する新たなバックアップ回路として、近年注目度が高まっているエフェクチュエーションへの理解を深めます。あわせて戦略計画的なマーケティング発想とエフェクチュエーションとの関係についての理解を、ケース討議などを通じて深めます。

<特におすすめ>新規事業開発担当、事業部門リーダー



栗木 契
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(商学)神戸大学
1997年岡山大学経済学部講師。2003年神戸大学大学院経営学研究科助教授、テンプル大学フォックス校客員研究員などを経て、2012年より同教授。専門分野は、企業家マーケティング、新規事業開発、ブランド・マネジメント。

経済学の分析モデルを
企業経営の意思決定に活用する実用的知見

近年、経済学はその姿を大きく変えています。その変化の1つとして、ビジネスや経営の意思決定に役立てるための、実用的な体系として発展していることがあげられます。つまり、ビジネスパーソンの皆さまにとっては、企業経営(業務)と生活の両面で深く結びついている学問ということになります。この講義では、ビジネスエコノミクス分野でこれまで学術的に得られてきた実用的な知見について学んだうえで、実際の経営ケースを用いて討議を行います。これらによって、体系的な理解を深めて身につけていきます。

<特におすすめ>事業部門リーダー、経営企画担当



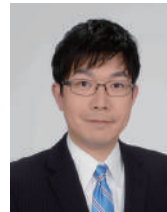
松井 建二
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(経済学)京都大学
2002年横浜国立大学経営学部講師、助教授・准教授を経て、2009年神戸大学大学院経営学研究科准教授。2014年神戸大学大学院経営学研究科教授。専門分野は、マネジリアルエコノミクス、経営科学。

ビジネスパーソンの共通言語である
財務諸表の理解と分析

英語やプログラム言語と並び、会計はビジネスパーソンの共通言語であるといわれます。本講義では会計の知識を利用し、財務諸表から企業の現状を読み解く基礎的な手法について解説します。具体的には、代表的な財務諸表である、貸借対照表、損益計算書、およびキャッシュ・フロー計算書という3つの書類の構造を学習するとともに、これらの書類の相互関係について理解を深めます。さらに、企業が実際に開示した財務諸表を用いて簡単な企業分析を行います。

<特におすすめ>財務研修初学者、リーダー職



北川 教央
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(経営学)神戸大学
2008年神戸大学大学院経営学研究科准教授、2022年より同教授。専門分野は、財務会計。

企業価値向上に不可欠なファイナンス的思考

ビジネスから得られたキャッシュが、調達したときよりも多くなっていれば企業価値が高まっています。また、そのとき資本コストを超える利益率を実現できています。ところが、資本コストの概念は誤解されやすく、会計的費用との違いが理解されないことがあります。この講義では、なぜファイナンス的な思考が企業経営において必要となるのかを、ROE(株主資本利益率)やPBR(株価純資産倍率)等の本質的な理解を通じて納得する機会を提供します。

<特におすすめ>マネージャー、経営企画担当



森 直哉
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(経営学)神戸大学
2003年熊本県立大学総合管理学部講師。2006年同助教授。2007年日本大学商学部准教授。2014年同教授。2016年より神戸大学大学院経営学研究科教授。専門分野は、コーポレートファイナンス。

多様性を活かし成果を生み出す
インクルーシブ・リーダーシップの実践

年齢や性別、働き方やキャリアに対する価値観といった様々な点で、組織における多様性が高まっています。こうした状況において、リーダーにはそれらの多様性をうまく活かし、組織の力を高めることが求められています。本講義では、昨今注目されている「インクルーシブ・リーダーシップ」を含む、リーダーシップを中心に講義を行います。さらに、ケース討議を通じて、多様性を成果につなげるリーダーシップのあり方について、議論を深めたいと思います。

<特におすすめ>現場リーダー、マネージャー



砂口 文兵
神戸大学大学院経営学研究科 准教授

博士(経営学)神戸大学
2018年椋山女学園大学現代マネジメント学部専任講師、2022年同准教授を経て、2023年より神戸大学大学院経営学研究科准教授。専門分野は、組織行動論、経営管理論。

交通サービスの特徴と
コロナ禍の需要予測からの議論

交通サービスには他の財とは異なる特徴があります。まず、オーバービューではこのような交通サービスの特徴について理解します。次に、交通プロジェクトは非常に大規模であることからその費用対効果についても関心を集めます。コアでは、交通の需要予測について交通以外の予測の例も取り上げながら議論します。最後に、コロナ禍で交通需要が減少した事例をケースとして取り上げ、交通サービスの特徴を踏まえた議論を行います。

<特におすすめ>交通・輸送事業者、経営企画職



三古 展弘
神戸大学大学院経営学研究科 教授

博士(工学)名古屋大学
MBA(フランス国立ボンゼリョセ工科大学)
2005年神戸大学大学院経営学研究科助教授、2017年より同教授。専門分野は、交通計画、交通行動分析。

企業とビジネスパーソンが持つべき
「責任という倫理」

経営倫理は、本来、企業が守るべき規則のようなものではなく、不確実な状況に直面した時の判断の指針となります。また最近、ESG経営という言葉が一般に普及していますが、本質を考えずに規則にあわせるESG経営の形骸化も進んでいます。この講義では、Worth(真価)/Value(価値)の関係や、倫理の基礎にある、人間としての「責任」という概念にもとづいて、パーパス経営や価値創造への展開までを視野に入れて、これからの時代の経営倫理の在り方について、より深く考えていきます。

<特におすすめ>役員、上級管理職



國部 克彦
神戸大学大学院経営学研究科長 教授

博士(経営学)大阪市立大学
1990年大阪市立大学商学部助手、同講師・助教授を経て、1995年神戸大学経営学部助教授。2001年神戸大学大学院経営学研究科教授。2021年より神戸大学大学院経営学研究科長・経営学部長。専門分野は、環境経営、経営倫理。

経営学のパイオニア

「神戸大学」の叡智による最先端の学び

神戸大学は日本で最初に経営学部を設置した大学として、学界をリードしてきました。また、神戸大学 MBAは35年にわたって1,600人以上のMBAホルダーを輩出し、経営の実践とも深く関わってきました。「学界で蓄積した理論知とMBAプログラムで培った実践知を融合し、最先端の学びを提供する」、本シリーズはこのようなコンセプトから誕生しました。

先進ケースを用いた討議で 問題解決の扉を開く

神戸大学 MBAの特徴の一つは、演習や討議を授業に取り入れていることです。先進的な取り組みから、国内外のビジネススクールで使われてきた伝統的なケースまで、様々な事例を授業に持ち込み、受講生同士で議論することを重視しています。事例を単なる「お手本」で終わらせず、討議で理解を深めて問題解決の扉を開く。これが、本シリーズのゴールです。職場で様々な問題に直面し、ビジネス書や経営学の教科書を手にとってみたいがいまいっぴんとこない。そのような方に、ぜひ受講していただきたいと思います。

現代経営学研究所 (RIAM) 理事
神戸大学大学院経営学研究科 教授
宮尾 学

社会人教育のプロ

インソースがアカデミアとビジネスをつなぐ

株式会社インソースは、2023年4月、神戸大学大学院経営学研究科との産学連携による教育研究拠点として、「人的資本経営研究教育センター(インソース創業20周年記念寄付センター)」を設立しました。そしてこの度、最先端の経営理論をもって、ビジネス課題の解決にあたる人財の育成を目的に、現代経営学研究所(RIAM)と共催で、本シリーズを企画しました。

ビジネスパーソンとしての 視座を高める経営知識の獲得

様々なビジネスの難問への対応が求められるビジネスパーソンに必要なのは、流行りの表層的な言説に振り回されることなく問題の本質をとらえる深い洞察力です。「よい理論ほど実践的である」。これは社会心理学者クルト・レヴィンの言葉です。我が国における経営学のフロントランナーである神戸大学の先生方を講師とし、深い洞察力、すなわち「よい理論」に裏打ちされた実践知の習得を目指します。

株式会社インソース 取締役執行役員 CFO
株式会社インソース総合研究所 代表取締役社長
株式会社インソースコンサルティング 取締役
藤本 茂夫

開催概要 Outline

開催日 2025 10.10(金) - 12.12(金) 全10科目 13:00-18:30

1科目
48,000(税込)
円/名



対象者

- ・リーダー、マネージャー、管理職層、30~40歳代のビジネスパーソン
- ・MBAや経営学に興味のある方、最新研究を学び視座を高めたい方

開講科目

戦略論、人的資本経営、イノベーション戦略、マーケティング、ビジネスエコノミクス、財務会計、ファイナンス、組織行動論、交通論、経営倫理
※1科目から受講可能 ※一部講座は事前課題あり

会場

インソース有楽町セミナールーム
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館6階

主催 株式会社インソース、NPO法人現代経営学研究所 後援 神戸大学大学院経営学研究科



詳細・お申込みはこちらから
https://www.insource.co.jp/bup/riam_business_school.html

各科目の詳細ページよりお申込みください
(開催日の6営業日前まで)
※複数科目受講する場合も、1科目ごとの申込みが必要です

お問合せ Inquiry

✉ info_iri@insource-ri.co.jp ☎ 03-6206-3671

インソース×RIAM ビジネススクール事務局 (株式会社インソース総合研究所内)
〒105-0004 東京都港区新橋2-5-5 新橋2丁目MTビル3階

